

# 8人の議員がただしました

長期的に誘客を増やす観光行政は

町内の名所史跡を生かした目的別のシナリオを作り、連泊を促したい



小林 市子 議員

質問：富士見町を訪れる客層のターゲットは。  
答弁：町内への観光客はファミリーや熟年者が多く、客層に合った町内

質問：町内2つのスキー場を連携し、特徴を生かしたPRが必要ではないか。

答弁：県内のスキー場などの共通リフト券は成功していません。町内2つのスキー場の客は8割以上が日帰りであり、共通券の効果は期待できませんが、両スキー場の特徴をもつとPRしていくたいと考えています。



富士見高原スキー場



パノラマスキー場

質問：富士見町を訪れる客層のターゲットは。  
答弁：町内への観光客はファミリーや熟年者が多く、客層に合った町内

質問：広原財産区は、各集落にまで「配分金」が落ち、集落内の公共事業に利用している。富士見財産区にはない。この不公平感をどう考えるか。

答弁：広原財産区の基金の蓄積が、過去の事業実績により富士見財産区と比べて大きいことがアンバランスということでしたら、これは町の議論ではないと思います。

□その他の質問  
＊失業者への支援について  
＊来年度予算について

富士見財産区との問題は

話し合いで解決を

町に損失を与えていたことは、見逃すわけにいきません



名取 武一 議員

質問：財産区管理会の同意権をどう考えるか。  
答弁：管理会と管理者（町長）は同意する状態でものごとを進めることがあります。

質問：管理者と管理会は富士見レンタルの問題を話し合いで解決すべきではないか。

答弁：町全体を考える立場として、パノラマと富士見レンタルの事業は完全に重複していると思います。両者で事業を行うことは、600万円の損失を町に与えていることになります。町に損失を与えていたことは、見逃すわけにいきません。